



■コントロールパネル ボタンの位置と役割を色で示しています。



■操作方法 手順に従ってボタンを押してください。

洗浄	●	メインスイッチ	▶	●	洗浄コース (+ ● オプション)	▶	●	スタート
リセット	●	を3秒押し	▶	ディスプレイが「0:01」と表示	▶	排水を行い運転終了		
中断	●	を押す	▶	●	を再度押すと運転再開 ※ドアを開けても中断します。			

■運転中に次の表示が現れたら?

数字が点滅	ドアが正しく閉じられていません。庫内を確認してしっかり閉じてください。
「E:○○」が表示	エラーを感知しました。取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をご参照ください。
「CL」が表示	ボタンがロックされています。パワフル70°Cのボタンを3秒押しと解除します。

■洗浄コース 食器の種類や汚れの程度に応じて、お好みのコースをお選びください。

コース	内容
パワフル70°C	汚れのひどい食器や鍋などの洗浄におすすめです。
auto オート45-65°C	汚れ具合をセンサーで感知し、水温や水量を自動調整します。
eco エコ50°C	水や電力の使用を抑える省エネ洗浄を行います。
グラス40°C	ワイングラスやプラスチックの洗浄に適しています。
クイック45°C	軽い汚れの食器を短時間で洗浄します。 ※予洗い、乾燥はありません。
予洗い	すすぎを行います。 ※乾燥はありません。

■洗剤・リンス剤の使いかた 食器洗い機専用洗剤をご使用ください。

洗剤

運転開始前に入れてください

- ボタンを押し、ケースを開けて洗剤を投入します。 タブレットは複数投入可
- カバーをスライドして閉じます。 カチッ

洗剤はパウダー、タブレットをご使用ください。ジェルは高い粘度が必要です。詳細は上記URLをご参照ください。

リンス剤

ランプが点灯したら補充

- フタを持ち上げ、maxの表示まで注ぎます (120ml)。 maxの表示まで
- フタをしっかりと閉じます。 カチッ

50ml以下になるとランプが点灯します。

洗い上がりやニオイが気になる場合は、洗剤のパッケージに記載の使用量よりもより多く投入してください。

■オプション 洗浄コースに追加できる機能です。

コース	内容
高速洗浄モード	運転時間を約20~66% (洗浄コースによる) 短縮して洗浄します。
洗いわけモード	下段バスケットに入れた食器を高圧+高温の水で洗浄します。
Hygiene+ 高温除菌モード	約70°Cのお湯ですすぎを行い、除菌効果を高めます。
タイマー	開始時間を1時間単位で調節します。(最大24時間)
光沢乾燥モード	すすぎ水量と乾燥時間を増やしてガラスをきれいにします。

大切なお願い

水漏れ・故障の原因となるため、お手入れのさいに洗剤を使わないでください。

■お手入れについて

ドアやパッキンの周りには食べ物の汚れが付着したまま残ってしまうことがあります。臭いやカビの発生原因となりますので、定期的に点検してお手入れを行ってください。

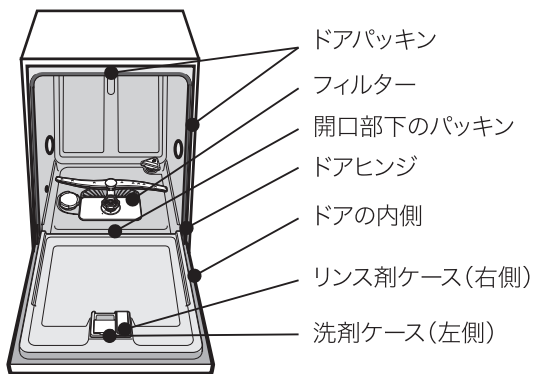
■庫内の汚れやニオイが気になるとき

- 食器を正しく並べて洗浄しても汚れが落ちていない
- フィルターを定期的にお手入れしていても庫内がにおう
- 庫内の底やバスケットのすみにペースト状の黒ずみが残る

! これらの症状が見られる場合は、洗剤の使用量が不足しております。洗剤のパッケージに記載の使用量よりもより多く投入してください。

■庫内のお手入れポイント 固く絞った布で拭き取ってください。

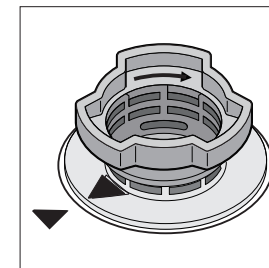
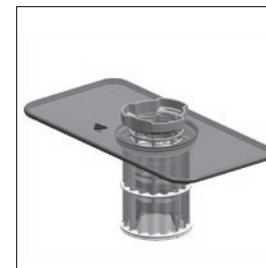
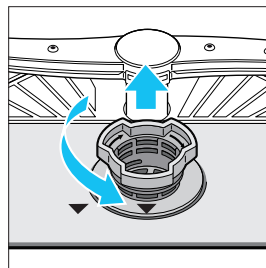
- 1 フィルターおよびその下の水たまり部分(サンプ)をお掃除してください。(サンプには封水の目的で一定量の水が残ります)
- 2 バスケットを全て外し、お手入れポイントを参考に汚れを拭き取ります。
- 3 バスケットを元の位置に戻したあと、「パワフル70℃」を選び、庫内を洗浄してください。このとき庫内クリーナーの併用をおすすめします。(裏面URLをご参照ください)



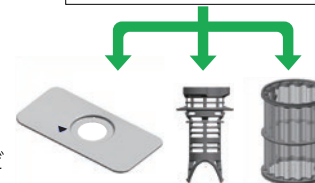
フィルターのお手入れ

- ご使用の都度～週1回を目安に
- E:22のエラー表示があるとき

- 1 フィルターを回して取り外します。
- 2 フィルターを分解し、水やブラシで清掃します。
- 3 フィルターを戻し、矢印が向き合うまで回します。



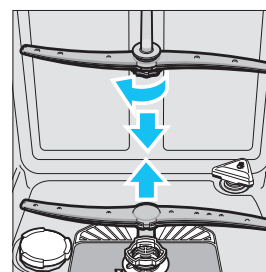
サンプにも異物が残っていないかご確認ください。
例: ラップ、輪ゴム、ようじなど



フィルターを戻す前に、周りに異物がついていないかもう一度ご確認ください。

スプレーアームのお手入れ

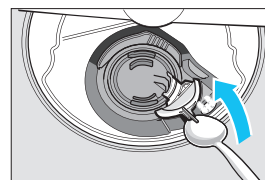
- 週1回～月1回を目安に
- 洗剤が溶け残っているとき



- 1 上段バスケット裏側にあるスプレーアームは、中心を回して外します。下のスプレーアームは引き上げて外します。
- 2 水でよく洗い、つまようじなどで詰まりを取り除きます。
- 3 逆の手順で元の位置に戻します。

排水ポンプのお手入れ

- 排水が不十分なき
- E:24またはE:25のエラー表示があるとき



- 1 電源プラグを抜き、溜まった水を布やスポンジで吸い取ります。
- 2 白いポンプカバーをスプーンなどを使って外します。
- 3 ゴミを除き、カバーをカチッと音がするまで押して固定します。